

し ぶ し 志布志



市議会だより

No.32 2014.2.11発行

韓国・延世大学キャンピン



韓国大学野球の名門、延世(ヨンセ)大学が1月16日から2月14日まで国民宿舎ボルベリアダグリに宿泊し、有明野球場で合宿をおこなっています。スポーツ合宿誘致に力を入れる本市にとって初の海外からの合宿受け入れとなります。



志布志市議会基本条例を制定	2
一般会計補正予算	4
振り込め詐欺撲滅に関する決議	5
5議員がいっぱん質問	9

志布志市議会基本条例を 制定しました

12月
定例会

平成25年12月定例会を、12月6日から20日までの15日間開きました。
一般会計・特別会計（介護保険・下水道管理）の補正予算や志布志シルバークプラザの指定管理者の指定など議案16件を審査しました。
これらの議案及び発議3件は原案どおり可決し、並びに平成24年度の一般会計（歳入1990億8816万5千円、歳出186億2160万7千円）と特別会計の決算を認定しました。
一般質問は5名の議員が保健福祉、産業振興、道路整備、防災対策、教育行政などについていただきました。

条例

志布志市議会 基本条例の制定

二元代表制の一方である議会は、行政執行を監視し、評価していく合議制の機関である。志布志市議会は開かれた議会を目指し、多くの市民と意見交換し、議員同士及び市民の方々の議論を活発に行い、多様な市民の意見を集約し、市政に反映させていく責務を果たすべく、志布志市議会基本条例を制定する。

（主旨説明）

議会及び議員の活動の活性化、市民への情報公開並びに、市民参加の推進を図り、市民の福祉の向上及び市政の発展に

資するため、議会及び議員に関する基本的事項を定める必要があることから提案するものである。

前文に引き続き、第1章総則から第10章補則まで、全21条からなる条例となっている。

本会議での討論

〈反対討論〉

政務活動の項目については特別委員会です一年以上議論してきた。しかしながら、意見の一致を見なかつた唯一の案件である。今回の第7章第14条は、政務活動費の導入に向けての挿入であることは、特別委員会の議論を見ても明らかだ。政務活動は、議会及び議員が取り組まなければならぬものである。そのために報酬が支給され、報酬に包含され

以上のような理由で反対の立場である。
福重彰史議員

基本条例の大半については賛成だが、第7章政務活動について反対である。国内において、政務活動費の返還命令が出たり、裁判になったりしている。特別委員会で17回も審議したが全会一致となっていない。また、第14条第2項で調査し検討するとなっているが、条例としては確定したものを提案すべきである。次の議会に申し送りするような不確定な事実を条例として制定するのはいかなものかと思う。以上のような理由で反対の立場である。
丸山 一議員

〈賛成討論〉

議会基本条例は、議会改革の一環として、市民への情報公開並びに市民参加の推進を図り、市民福祉の向上に努めるという大きな目的がある。第7条では、議会報告会の開催もつたわれている。政務活動費の導入については前向きな条例ではないかという意見もある。

今回、会派制の導入も条例化されており、政務活動費の充実については、今後の会派の活動、議員の資質向上、政策提言のために、十分検討すべき事項であると思っております。政務活動費が目的ある費用になるように、そして多くの議員が活用し、市民の福祉向上や政策提言をしていくために必要経費であると思っております。以上のような理由で賛成の立場であります。

立平利男議員

起立採決による賛成多数で可決

※条例に盛り込まれた特記すべき事項

○会派(第5条)

同一理念を持った議員集団を会派と規定し、結成の目的、活動の原則を文書で議長に提出する。

○報告会(第7条)

市民からの要請ではなく、議員自ら積極的に報告会を開催することを明文化し、実行していく。

○議員間の自由討議(第11条)

議会は討論の場であるとの原則から、会議の場への市長等の出席は最小限にとどめ、議員の自由討議を中心に議会運営を行う。多様な意見を出し合い、議会としての合意形成に努力する。

○政務活動の充実(第14条)

政策の立案及び提言を行うため、調査研究その他の活動に努め、議会活性化を目指す。また、その状況や市民への説明責任を果たしながら、政務活動費の交付について検討をしていく。なお、現時点での交付はできない。

報告

議会基本条例等調査特別委員会の調査の概要と結果について

本委員会は、平成23年第2回臨時会において、議員12人をもって設置され、他自治体への所掌事務調査や17回にわたる委員会を開催し、議会基本条例に関する調査を行



田川市議会での所掌事務調査

ってきた。第1回から第3回まで、調査方法や日程並びに調査スケジュールについて協議を行った。その中で、先進地の所掌事務調査を実施するとともに、既存の条例の比較検討や、改善すべき事項の洗い出しを優先して行い、それらの事項を考慮し、全体構成や条項を検討していく方法で調査していくことが決定された。福岡県田川市、佐賀県嬉野市の所掌事務調査を行い、条例策定までの経過や方法等、また、市民の反応やそれに対する議会の対応等、調査した。調査報告も



嬉野市議会での所掌事務調査

踏まえ、全員協議会で中間報告を行い、その後、条例についての協議を開始した。第5回から第9回までの5回にわたる委員会、個々の条項及び条文について検討を進め、条例の具体的な形を整理した。しかし、政務活動費について、意見が分かれたので、その後2回の委員会を開催し、審議を続けてきた。その中で志布志市議会として政務活動費を交付することについて、賛否両論あった。その後、全員協議会での現状報告と意見聴取を含め、5回の委員会での政務活動

費に対する議論が続けたが、意見の一致には至らなかった。しかし、志布志市議会基本条例を制定することについては、委員全員の総意であった。よって、基本条例の中で政務活動の充実を図りながら、引き続き政務活動費についての議論を深め、検討する旨の条項を盛り込む案と、政務活動に関する部分を一切盛り込まない案を提示し、最終的に二者択一で採決することで、委員全員の承諾を得た。結果として、「政務活動の充実」という条項を表記し、「従来」の活動を充実させながら、政務活動費の交付については、今後も状況を見ながら検討していく。旨の表現とした。志布志市議会基本条例は、志布志市議会活性化の出発点である。この中に示された事項が現時点では最良であると思っております。しかし、さまざまな意見のあった政務活動の部分も含め、議会及び議員の活性化、また、市民の意見を真摯に受け止めながら、議会本来の責務を果たすため、絶えず検

証・見直しをしていかなければならないと考えている。現状ありきでなく、進化し続ける議会でありたいと願っている。

志布志市議会委員会条例の一部を改正

志布志市議会議員定数条例の制定による議員定数の削減に伴い、常任委員会、議会の定数を改める。

(全会一致で可決)

名称	改正前	改正後
総務常任委員会	8	7
文教厚生常任委員会	8	7
産業建設常任委員会	8	6
議会運営委員会	9	7

一般会計

12月補正予算

2億324万円を追加

予算総額は194億6991万4千円に

本会議での質疑応答
各委員会での質疑応答
は6頁から

一般会計は、双葉保育園の建て替えに必要な費用の一部を助成する「保育所緊急整備事業」、個人住宅のリフォーム工事に助成し、市内産業の活性化を図る「住宅リフォーム助成事業」を計上した3号補正を可決しました。

また、介護保険と下水道管理の各特別会計の補正を可決しました。



現在の双葉保育園



建て替え予定地

Q 建て替えを要望している保育園は何園あるか。

A 現在要望のある保育園は4保育園である。

Q 住宅リフォーム助成事業は、次年度以降も取り組むのか。

A 平成24年度の実績で補助に對する工事費は約10倍となり、極めて経済効果の高い事業である。次年度以降も引き続き取り組みたい。

一般会計補正予算の主な事業

- 保育所緊急整備事業** …………… 1億3273万円
双葉保育園の建て替え事業に要する費用の一部を助成し、子どもを安心して育てられる環境を整備する。
- 市単独土地改良事業** …………… 1400万円
国の「地域の元気臨時交付金事業」を活用し、農道を舗装することにより、地域の経済の活性化と農業の基盤整備をする。
- 観光客ゲートウェイ機能強化事業** ……… 196万円
県の緊急雇用創出事業を活用し、観光客の玄関口として計画的に整備しているJR志布志駅の情報発信ができるよう機能を強化し、「志」の総合観光案内所(仮称)開設に向け準備をする。
- 商工業振興対策事業** …………… 50万円
商工会への補助金を増額し、「志布志黒豚三昧丼」の全国ご当地どんぶり選手権出場に對し支援をする。
- 住宅リフォーム助成事業** …………… 500万円
個人住宅のリフォーム工事に助成し、市内産業の活性化を図る。申請者の増加に伴い増額する。
- 行政告知放送端末設置事業** …………… 362万円
災害緊急時における迅速かつ的確な情報その他住民に必要な行政情報を伝達するための行政告知放送端末を設置する。
- 太陽光発電システム設置事業補助金** …… 240万円
住宅用太陽光発電システムの設置に對する市単独補助を行い、省エネルギー運動の推進普及を図る。申請者の増加に伴い増額する。

Q 行政告知放送端末は緊急時、非常時に効力が発揮されるが、設置世帯と未設置世帯は何世帯あるのか。また、未設置世帯への推進は。

A 平成25年10月末現在で設置世帯数は約1万4500世帯である。残り1500世帯ほどは設置が可能だと思つて、機能性等について市民の方々の理解が高まっている。今後もし利便性の高さを伝え推進していく。

Q ウィンドウズXPからウィンドウズ7への移行費用はどれくらいか。

A 既存端末342台、新規調達端末158台、その他電子申告端末、会計課OCR端末などのインストールや設定業務などで約1250万円必要である。

Q 観光客ゲートウェイ機能強化事業は、総合観光案内所をそのまま活用するのか。また、特産品等の販売も

A 志布志駅を全面リニューアルすることになったため、総合案内窓口としての機能を大幅に強化するものである。観光特産品協会に委託するが、県の緊急雇用創出事業臨時特別基金事業から全額充当するものである。現在ある総合観光案内所をそのまま活用し、観光客や特産品を大幅にPRできるよう機能を拡充する。

(全会一致で可決)

9 施設の指定管理を指定

○指定の期間
平成26年4月1日から平成31年3月31日

施設名	指定管理者
志布志シルバーワークプラザ	公益社団法人 志布志市シルバー人材センター
有明シルバーワークプラザ	公益社団法人 志布志市シルバー人材センター
伊崎田青少年館	伊崎田校区公民館
通山青少年館	通山校区公民館
原田青少年館	原田校区公民館
山重青少年館	山重校区公民館
蓬原青少年館	蓬原校区公民館
有明青少年館	有明校区公民館
野神青少年館	野神校区公民館

9 施設の指定管理を
新たに指定

本会議での質疑応答

Q 本市のシルバーワークプラザは志布志地区と有明地区に施設があり、会員さんの拠点となる施設である。志布志地区の施設についてはほとんど活用されていらない。しかし、維持管理費は発生しているため、会員さんが使いやすい施設になるよう研究すべきではないか。

A シルバーワークプラザは、多くの会員の方々が施設を利用し、目的を達成するための研修や情報交換の場所だと思っている。今後、理事会等で協議し、利用度が高まるよう運営していきたい。

Q 青少年館の指定管理料は5年間同額なのか、また、それ以上の支出があるのか。
A 5年間同額である。また、校区公民館からの持ち出し等もない。



志布志シルバーワークプラザ

決議

振り込み詐欺撲滅に
関する決議

近年、振り込み詐欺（オレオレ詐欺、架空請求詐欺、融資保証金詐欺、還付金等詐欺）や振り込み類似詐欺による特殊詐欺の被害は、全国的に急増し、市民生活を脅かす大きな社会問題となっている。昨年の振り込み詐欺等の特殊詐欺の被害総額は、全国で約360億円（本年9月末現在の暫定値約340億円）、鹿児島県内においては約2億1000万円（本年はすでに約2億9000万円）に達し、住民の大切な財産が奪われている。
志布志警察署管内では、平成23年度から振り込み詐欺の被害はないが、振り込み類似詐欺の被害が、平成24年に3件発生し、被害総額は1965万円となっている。
犯人グループも新たな手口で犯行を行い、今後被害の拡大が懸念されるが、安全で安心して暮らせる地域社会を実現することは、住民の

負託を受けた我々の重大な任務である。
人々の不安につけ込み、家族への愛情を悪用して住民の財産を奪つて振り込み詐欺を始めとする特殊詐欺は、極めて卑劣な犯罪であり、決して許すことはできない。よって、本市議会は、住民の安全で安心な暮らしを守る立場から、警察や関係機関と連携し、住民と一体となって振り込み詐欺撲滅に対する姿勢を明確に示すとともに、すべての住民がその被害に遭わないための防止策を、積極的に推進することを決意するものである。

有料サイト 突然請求 無視して相談

「融資します その前に金送れ」は 振り込み詐欺



受け入れた行政視察

- 11月7日(木) 愛知県津島市議会 健康づくりについて
- 11月13日(水) 広島県三次市議会 リサイクルについて
- 11月15日(金) 広島県三原市議会 健康づくりについて
- 11月18日(月) 東京都清瀬市議会 リサイクルについて
- 11月22日(金) 大分県議会 スポーツ合宿について
- 1月20日(月) 神奈川県葉山町議会 環境政策について
- 1月22日(水) 長崎県五島市議会 環境政策について
- 1月27日(月) 宮崎県西都市議会 ふるさとづくり委員会 について
- 2月5日(水) 茨城県筑西市議会 定任促進について



住宅リフォーム助成事業を増額

総務委員会

一般会計補正予算

(財政課)

Q LED照明を活用し、左省エネルギーへの取り組みはどうか。

A 別館2階会議室改修工事ではLED照明を設置している。本館については、投資額と節電による効果について検討中である。

(総務課)

Q 防災行政無線デジタル化整備に伴う屋外拡声局は何局あるのか。また、すべての施設に利用料が発生するのか。

A 今回182局を整備する。内訳として、有明地区64局、志布志地区75局、松山地区43局である。このうちの95局が建



防災行政無線デジタル操作卓

て替えて、5局が新設となる。屋外拡声局の本数は全体で30局、アンサーバック機能付きの局だけに電波利用料が発生する。

(企画政策課)

Q 住宅リフォーム助成事業の経済効果は10倍になるとの認識でいいか。

A 平成24年度の実績で、申請件数が98件、助成額1億162万7千円、総工事費が約1億1651万円になるので、補助に對しての工事費は約10倍になる。

Q 事業は2ヶ年計画だったが、来年度以降はどうするのか。

A 景気浮揚対策・経済対策が大きな要因で導入されている。終期設定を設け2ヶ年計画で事業をおこなってきた。この補助に伴う事業としては本年度までだが、市長は次年度以降も取り組むことを示唆された。住宅リフォームは長寿命化や移住定住にもつながる政策的な意味合いの強い事業なので、関係課と協議しながら進めていきたい。

(情報管理課)

Q マイクロソフト社のサポート期間が終了するため、ウィンドウズXPからウィンドウズ7に移行されるが、現在、ウィンドウズ8が販売されているが、そちらへの移行の考えはないのか。

A 合併以来更新していない。不具合等の話も聞いていたことから、今回も新規調達分についてはウィンドウズ7に決定したものである。ウィンドウズ7のサポート期間は平成32年度までであるので、その後は新たに対応したい。

Q 行政告知放送端末の補助の在り方については、今後も際限なく続くのか。

A 当初事業で設置した時は、交付金の対象となるため無料であった。事業が終了すると、一般財源で対応しなければならぬため有料になると説明してきた。しかし、転入者等と不公平感が生ず

るため、議会に提案し、全額補助から希望者に市が直接設置する現在の形となった。また、設置事業については、振興計画に100%設置を目標に掲げているため、今後も続けていく。

(港湾商工課)

Q 志布志駅の全面リニューアルのスタートは来年4月からか。

A 志布志駅の全面リニューアル構想を検討してきた。平成26年度の事業完成を予定していたが、6月の本予算成立後、事業開始となる。建設工事が年度をまたぐと、県の補助事業や地方債の活用が難しくなるため、平成27年度に建設工事を実施し、早い時期にオープンしたい。

Q 志布志駅の全面リニューアルにかかる予算額はどれくらい必要なのか。

A 全面リニューアルは3月までに構想を完成させたい。金額については特に制限を設けていないが、未代まで続く大掛かりなリニューアルになると思う。国・県の補助、地方債を考慮し検討中。



全面リニューアル予定の志布志駅

請願

○TPP交渉からの撤退を要求する請願は継続審査となりました。

陳情

- 「県民の安全が担保されない拙速な川内原発1・2号機の再稼動を認めない決議」の採択を求める陳情書
- 川内原発の拙速な再稼動に反対する陳情書
- 協働労働の協同組合法(仮称)の速やかな制定を求める意見書に関する陳情書の3陳情は継続審査となりました。

志布志シルバーワークプラザほか8施設の指定管理者を指定

文教厚生委員会



有明シルバーワークプラザ

市内シルバーワークプラザの指定管理者の指定について

(福祉課)

Q 指定管理料が発生していないが、光熱水費等、市から別途支出しているのか。

A 施設管理費については、受託事業費の10%を事務費として充当しており、その中から、受託者が賄っている。

Q 今回の提案にあたり、指定管理者が協定書や、仕様書どおり履行することが担保されていると考えていいのか。

A 事故、災害時の連絡体制や、避難訓練とマニュアル整備についても25年度中に改善され、管理運営に支障のない状況になっている。



通山青少年館

有明地区青少年館の指定管理者の指定について

(生涯学習課)

Q 5年間の指定管理であるが、修繕等の大きなものはないのか。

A 管理料の中で、修繕に関する経費を1万円程度計上している。軽微なものについては、受託団体で対応する。規模の大きなものについては、年次的に所管課で対応している。

Q 所管の評価として、優良な所もあるのでは。

A 地域に密着した良好なサービスが行われている。災害時の対応も可能で、地域の方々による自主的な清掃も行われており、非常に評価している。

いる。今後の施設管理のため、地域の特色を活かした自主事業を期待して良好という評価である。

一般会計補正予算

(保健課)

Q 肺がんCT検査の受診者が約2倍に増加している。要因はなにか。

A 開始から2年が経過している。周知・啓発がされたこと、受診された方々のすすめによる部分も大きい。また、集団検診で気軽に受診できるうえに、通常7500円が2500円で受診できることも、増加の要因と考える。

Q 双葉保育園の施設整備が予算化されているが、現在の双葉保育園の入所者数と整備は繰越事業か。

A 現在の定員は90名。入所者は市内の園児100名、市外の園児2名の合計102名である。今回の施設整備は、県の追加募集による採択なので、25年度から26年度にかけての繰越事業である。

Q 延長保育が、補助基準非該当により自主



パソコン教室

事業となるが、該当する事業所はいくつあるのか。また、このことは、保護者の負担増にならないのか。

A 今回は、2園が該当する。また、自主事業となっても保護者の負担は変わらない。

(市民環境課)

Q 太陽光発電システム設置事業による、本年度地区ごとの実績は。

A 有明地区41件、松山地区14件、志布志地区46件である。

(教育総務課 学校教育課)

Q 今回の事業で、小・中学校へ何台のパソコンが導入されたのか。

A 主なものは、パソコン教室用デスクトップ型を中学校4台、小学校へ13台、ノート型を中学校121台、小学校へ247台導入した。

Q 中学校の現状に対し、スクールカウンセラーはどのくらい役割を果たせると考えるか。

A 子どもたちの置かれた環境を改善するために、学校・家庭・地域の連携が必要である。スクールカウンセラーは、教職員・児童・生徒・保護者へのカウンセリングをする有効な手段だと認識している。現状を把握改善し、地域との連携を築くために必要である。

介護保険特別会計

補正予算

(市民環境課)

Q 還付対象者をどれくらい見込んでいるか。

A 24年度は26件の還付があった。本年度は、12月までで16件である。ただし、昨年まで還付期間が2年間だったが、今年から5年以内となり、還付額が多くなること予想される。

稲付川河川改修工事、平成27年までに完成予定

産業建設委員会



家畜指導センター



秋の畜産品評会

志布志市家畜指導センター条例の一部を改正

志布志市家畜指導センターの指定管理者の指定期間が満了することに伴い、指定管理者制度から直営方式へ変更するもの。

Q 家畜指導センターの年間の利用回数は。

A 品評会が春と秋の2回、登録検査が4回、秋の品評会前に育成指導を1、2回行ったため、年間7回から8回である。

Q 畜産関係以外の団体も借りることができるのか。またその場合は利用料金がかかるのか。

A 本来の目的に支障のない範囲で、利用してもらっている。利用料金については、無料である。

損害賠償の額を定め、和解するものについて

刈払作業に伴う事故による損害を賠償し、和解するもの。

Q 事故防止対策として、過去にあった事故の事例集を作ることや、作業員に、事前に予想される事故に対し注意喚起してはどうか。

A 事例集等を作り、作業員に予想される事故の周知を徹底させたい。

一般会計補正予算

(耕地林務水産課)

Q 森林整備地域活動支援交付金事業の改正理由は。

A 作業路網整備において、これまでの距離あたりから、面積あたりの単価設定に変更になった。また、経営計画作成に伴い、同意徴収5割以上が補助要件に加わった。

Q 農業用施設災害復旧事業は300万円の減額となっているが、不用の理由は。

A 当初の予算は被害額で算定し、その後に災害査定を経て事業費が確定するので、減額となるものである。

(建設課)

Q 稲付川の河川改修事業の全体事業費と完成見込みの時期は。

A 当初は、2年間で4500万円の予算措置を計画していたが、本年度に測量をして、6000万円を見込んでおり、平成27年度までには、完成できると考えている。

(畜産課)

Q 肥育ブランド事業を担当していた職員が辞めたことで支障はないのか。今後の指導はどうか。今後の指導はどうか。今後は、どのように肥育指導やブランドを立ち上げていくか事業内容を精査した上で、改めて必要な場合は技術を持った方を雇用したい。

A 支所も含めた応援体制をとり、対応している。今後は、どのように肥育指導やブランドを立ち上げていくか事業内容を精査した上で、改めて必要な場合は技術を持った方を雇用したい。

(農政課)

Q アグリコミュニティ事業のパソコン1台の基本ソフト更新経費に、約20万円かかるとあるが買った方が安いのではないのか。

A 独自のソフトを使用しているため、不具合が生じないための調整作業に経費がかかる。経費には旅費等も含んでいるので、定期点検の時に入れ替え作業も同時に行ってもらうなどとして、経費節減できればと考えている。



稲付川河川改修工事予定箇所



西江園議員

本庁機能を志布志町へ

▶合併協議で有明に決定した

西江園明議員

現在の志布志支所は市街地の中心にあり、合併前の役場時代は火事の際にはどこよりも早く役場分団がかつけ初期消火活動を行い、住宅密集地での大災害を防止してきた。現在の有明本庁からかけつける状況は、市民への大きなサービスの下である。また、合併後は本庁へのお客さんも増えているが、商店街もなく、港も見えないところに港湾商工課がある姿が志布志市の現状である。本庁機能を志布志町に移転する考えはないか。

合併協議会で決まった

市長 合併協議により本庁舎は有明に決まり、駐車場問題など多くの問題があった。将来的に機運が高まってくれば議論が必要になってくると思う。

志布志市の玄関はどこか

問 志布志市の玄関はどこを考えているか。

志布志駅付近と思う

市長 志布志港のある志布志駅付近と思う。しかし玄関の近くに市役所がなければならぬとは思わない。

志布志町の市民と話をしたことは

問 市長は今までも本庁の位置の件で市民から意見は聞いたことがないと答弁してきたが、志布志町の市民と話をしたことはないのか。

市民からは

聞いたことはない

市長 本庁舎を志布志町に移転すべきとの意見はふれあい移動市長室でもなく、ほかの場所でも直接聞いたことはない。



志布志支所

市長から答弁の訂正

市長 「本庁舎を志布志町に移転すべきでないか」との質問に対し「市民からの意見を聞いたことがない」と答弁したが、昨年5月に森山校区で開催されたふれあい移動市長室でそのような意見が出されていたことを失念していた。答弁の訂正をする。

円安、消費税率アップで指定管理料の見直しは

問 昨年自民党が政権をとり、安倍政権が誕生した。アベノミクスと言われる経済政策で円安が進み物価の値上げが進んでいる。さらに来年4月からは消費税率も8%に上がる。このように社会情勢が変化しているが、指定管理料にはどのように反映されているのか。

年度途中でも

指定管理者と協議する

教育長 基本協定書に基づき、電気料金の値

上げや消費税率のアップなど経済情勢の変化があれば、指定管理者と協議し、年度途中で変更契約する。

NPO法人になったが行政の関与は

問 受託者がNPO法人になったが、問題なく運営できる組織としてスタートしたのか疑問を持つ。行政の関与は今までと違うのか。

行政の立場は変わらない

市長 民間でもNPO法人でも行政の立場は変わらない。

裁判中の市道改良工事の進捗状況は

問 香月小学校前からグリーンロードに通ずる市道が、用地買収の件で裁判になり現在工事がストップしている。裁判の状況は。

相手が特別抗告の申し立てを行った

市長 福岡高裁で上告却下の決定がされたが、訴訟人が特別抗告の申し立てを行った。判決が決定次第すみやかに着工する。



市道改良工事



毛野 議員

本庁舎機能を志布志支所に移転する考えは

▼機運が高まれば議論したい

よみがえる農地復元
対策事業で

市長 放棄地再生利用緊急対策交付金と市単独事業を継続し、交付金を有効に活用しながら耕作放棄地の解消に努める。

家畜伝染病対応策は

問 3年ほど日本では、
□てい疫の発生も確認
されていないが、中国
をはじめアジアでは、
猛威を振るっている。
本市は南九州の飼料供給
基地を抱え中国産稲
わらも輸入している。
その対応策は万全か。

市、県を挙げて対策

市長 車両消毒機設置
や全農家へ消毒資材配
布、看板設置と水際検
疫など徹底した消毒の
実施で、県と連携し侵

入防止に努めている。

県道と市道の整備は

問 県道塗木大隅線の
田之浦地区大越は、生
活道路と通学路で暗く
危険な箇所である。早
急に部分改良を県に要
請し整備する考えはな
いか。

県に重ねて要請している

市長 この路線箇所は、
県に直接説明し理解を
得ている。継続して要
請していきたい。

問 県道柿ノ木志布志
線は、筆界未定があり
難しい路線だが、通勤
通学に大変重要な路線
である。早期に改良す
る考えはないか。

市長 早期の全線開通
を願っている路線であ
る。用地の確保に地主

と粘り強く交渉し、今
後も熱意を持って取り
組む。

武道館に観覧席を

問 武道は日本古来の
伝統であり、本市の中
学校でも必修となり、
柔道大会が開催されて
いる。その武道館に簡
易な観覧席を設置する
考えはないか。

体育館の活用で

市長 大迫団地につい
ては、企業誘致のため保
有する土地だが、良い結
果に至っていない。条件
整備を整え、前向きな誘
致活動に取り組む。

企業誘致に取得した 土地の利活用は

問 財政難の中基金を
取り崩してまで、取得し
た企業誘致のための遊
休地の活用と企業誘致
の現状とその見込みは。

教育長 観覧席の設置
は、予算等を含め検討した
が、競技スペースが狭く
なり危険を伴い構造上
設置が難しい。体育館を
利用しながら、今後どの
ような体育施設が望ま
しいか検討中。



志布志支所

耕作放棄地解消への 取り組みは

毛野 了議員 市長は
3選に向けたマニフェ
ストの内容に、本庁舎機
能を志布志支所に移す
ことは盛り込まれてい
ないのか。

市長 将来的に庁舎建
設の機運が高まれば、
市民の皆さんと、一緒
になり本庁舎の位置や
組織の在り方について
議論したい。



安楽大迫工業団地



小野 議員

詐欺被害防止対策を図れ!

▶安心・安全のまちづくりを進める

小野 副議員 振り込め詐欺をはじめとする特殊詐欺被害の認知件数は増加傾向にあり、本市も極めて深刻な状況にある。今後のさらなる対策強化のためにも、警察・行政・地域団体等、社会が一体となった詐欺撲滅の機運を醸成することが必要不可欠ではないか。

市長 振り込め詐欺やそれに類似する詐欺事件が後を絶たず、今後も特殊詐欺などがさらに高度化することも考えられる。関係機関と連携を強化し、被害防止の周知や啓発活動を実施するなど、市民の安心・安全のまちづくりを進めたい。

振込む前に
我が家で決めた
合言葉!
「0000」



不審な電話があったら110番通報!!

データヘルス計画導入を

問 レセプト(診療報酬明細書)や健康診断情報等を活用し、意識づけ、保健事業、受診勧奨などの保健事業を効果的に実施するために「データヘルス計画」作成がある。導入に向けて積極的な検討をすべきではないか。

レセプト分析技術を活用

市長 本年度からレセプト分析技術等の特許を持つ県外の業者と契約し、そのデータ等を活用した医療費の詳細な分析や、糖尿病、精神疾患等にかかる疾病対策を実施している。各

種疾病の対象者のリストや治療中断者リストによる受診行動適正化など生活習慣病予防の保健事業に活用したい。

ジェネリック医薬品の利用促進を

問 ジェネリック(後発)医薬品の利用促進を徹底して図った結果、薬剤費の削減に大きな効果を得た先進自治体も増えてきている。本市のジェネリック医薬品の利用促進に向けた取り組みの現状を示せ。

削減効果額等で検証する

市長 ジェネリック医薬品の普及率は、全体の割合でいうと、数量ベースで平成23年7月の26%から、平成25年9月の31%、金額ベースでは11%から13%といずれも伸びている。今後、レセプト分析技術等の特許を持つ県外の業者と連携して、削減効果額等も出せるようになる。年次的に結果を検証したい。

住民への説明会の推進を

問 南さつま市の加世田地区では、地域の医師会、歯科医師会、市町村担当者等をメンバーとして保健所が協議会を運営している。後発医薬品に関する差額通知について議論したり、後発医薬品メーカーへの工場見学も行ったりとしている。また、後発医薬品に関する住民向けの説明会も推進している。ジェネリック医薬品については、住民説明会を積み重ねて理解してもらうことが大事ではないか。

本地区でも取り組みたい

保健課長 25年度は鹿屋保健所管内でモデルとして取り組む。本地区においても、志布志保健所を中心に、協議会としての取り組みができればと思う。県にもお願いしていく。

青少年育成の在り方は

中学校・出水中学校がひとつになる。しかし、統合校となる志布志中学校の現状に対して、生徒・保護者の中にも不安が広がっている。今後の、学校・家庭・地域の連携をはじめとした青少年育成の在り方について示せ。

相談体制を充実させる

教育長 在校生の中には、卒業後の進路が不確定で明確な目標が持てず、さまざまな外的諸問題が複合的に絡まって問題行動につながりがちな生徒がいることも事実である。生徒の状況に応じて、家庭と一体となって、指導すべきは指導し、支援すべきことについては関係機関との連携を図りながら手厚く支援を行っている。教職員の配置等も工夫し、スクールカウンセラーの配置や心の教室の設置など、個別の悩みや相談へも対応できるように体制をさらに充実させたい。

問 平成26年4月から、志布志中学校・田之浦



鶴迫 議員

女性消防団の設立はどうなったか

▼26年度に設立する

い。災害時には川下に下らず、上のほうに逃げたいので納得がいかない」との意見を把握しているか。

26年度以降は自治会・自主防災組織に決めてもらう

総務課長 1回目の避難場所は高台をある程度市で決めたが、献上橋は、地域から要望のあった場所に指定した。確かに、その住民の方には、下に下るような形になると思った。来年度以降の訓練では、今の公民館単位から自治会、あるいは自主防災組織で、津波の時に逃げる場所を決めてもらうことになっている。市は決まった場所に看板等を設置し、そこを一時避難場所にすれば問題は生じないと考えている。

住民の立場に沿った避難場所の指定を

問 避難場所を指定する時には、その地形や実情に応じて、自治会をひとくくりにするのはなく、一番早く逃げる事ができるように2つとか3つかに分けることも必要である。避難する住民の立場に沿った、きめ細やかな場所を指定する

べきであると考えることがどうか。

地域の意見を十分に聞き設置する

市長 市として不備な点が多いということについては、申し訳なく思う。訓練を重ね、より適切なシステム整備をしていきたい。避難場所については、地域の方々の意見を十分に聞きながら、いち早く避難できる所を設置していく。市民の生命に関わる内容であるから、十分に周知を重ねていきたい。

鶴迫京子議員 本市の消防団員数は、定年制を廃止したにもかかわらず年々減ってきている。これでは地域の防災力が低下し、市民の安心・安全を守れなくなる懸念がある。東日本大震災や原発事故・豪雨災害など多くの教訓を踏まえ、災害時に女性のもつ特性を生かす必要がある。行政は防災パワーを発揮できる場所を提供する時期にきていると考える。

平成25年6月議会で、女性消防団を設立したらどうかと一般質問したが、その後の進捗状況は。

26年3月議会に提案

市長 消防の幹部会でも協議し理解を得た。消防団条例の改正や制服などの予算も必要なので、3月議会に提案し、平成26年度に女性

消防団を設立したい。



枕崎市に発足した女性消防団 (枕崎市より提供)

津波避難訓練の在り方は

苦情や意見等はなかったか

問 11月16日に市で3回目となる津波避難訓練が実施されたが、苦情や意見等は寄せられていないか。

アンケートには、あった

市長 訓練については

特になかった。当日のアンケートには、手すりや防災行政無線の要望や避難路整備等の意見があった。

献上橋を避難場所としての現状把握は

問 中大性院の方々は、一指定避難場所の献上橋は高いところにはあるが、自分たちは避難時には津波の来る方向の川下に向かってから階段を上り、献上橋まで行かなければならな



津波避難訓練



小園 議員

本庁舎移転の考えは!

▶ 声があがれば真摯に対応

小園義行議員 本庁舎移転については、この8年間立場を変えて質問してきた。市全体の問題として、政治家本田修一として判断をする時期にきていると思うがどうか。

市長 次期は、合併後10年という節目もあり、12年経てば、社会変動もあり環境も変わり、人の考えも変わる。考えるべきだという声が多数あがるとなれば真摯に対応していきたい。



志布志支所

リフォーム事業の継続は
問 住宅リフォーム助成事業を継続して取り組む考えはないか。また、実績はどうか。

継続して実施

市長 事業としては本年度までとしてきたが、これまでの実績に基づく工事費等の直接的効果や波及効果、事業者への聞き取りやアンケート調査など総合的に判断し、一定の経済効果が見られたと考えて

いる。引き続き継続して実施することとした。平成24年度の実績は申請件数98件、総工事費約1億1651万円、助成金額は1162万7千円。平成25年11月末現在の実績は申請件数95件、総工事費は9373万円、補助金額は63件、651万円となっている。

店舗版リフォーム事業は

問 店舗版リフォーム助成事業を実施する考えはないか。

調査、研究する

市長 住宅リフォームと同じような形でかなりの経済効果があると考えているが、課題もある。商工会の意見聴取や他の自治体の取り組みを調査、研究していきたい。

高校卒業まで子ども医療費助成を

問 子ども医療費助成事業を高校卒業まで広げる考えはないかと質問し、財源も示してきた。これまでも前向き

におこない結びつけたいと答弁されているが、考えはどうか。

日本一を目指す 意気込みで

市長 県内で南大隅町が25年8月分から実施している。どついつた形で取り組まれているのか、把握しながら南大隅町を上回るような措置と事業を組み立てていきたい。実施するならば本当に優れた形で日本一を目指す意気込みのあるものにしていきたい。

就学援助の拡充は

問 就学援助をクラブ



中学校で必修化されている武道

活動費やPTA会費等についても国が要綱を広げている。要保護世帯と同じように準要保護世帯にも拡充をする考えはないか。

教育委員会と協議

市長 教育委員会としては予算化したいとの希望である。教育委員会と十分協議し考えていきたい。

他に
・敬老祝金の75歳以上全員支給
・嘱託職員の待遇改善について質問した。

昨年の暮れの南日本新聞に、本市の元文化財保護審議委員長の山畑敏寛さんが、江戸期の志布志の海運業者である藤後家の航海記録「明神丸覚書」(志布志町誌上巻)を精査し解説した本を、教育委員会より刊行されたことが記載されています。

山畑さんは、江戸期の薩摩藩の菜種栽培に肥効にあつた骨粉の発見者とされる知覧の仲寛兵衛よりも約

40年もの「覚書」の積荷の記録に骨粉肥料があり「この事実は専門家にもあまり知られていない。大隅の歴史にもっと光を当ててほしい」と話しています。

藤後家は、「志布志町誌下巻」の第3節災害の「枇榔島合戦」にも登場します。「枇榔島合戦」を概略すれば、明治19年9月23日、24日、志布志地方を襲つた台風による「前例のない大災害」(町誌)のことで、特に漁業に壊滅的な被害をもたらしました。当時の志布志湾の沿岸漁法の主力は、通称八田網と呼ばれ、志布志港には藤後家を含めて8統の船団がありました。9月23日夕方、台風が接近する中を数日来の豊漁の勢いで全船団が出港しま

議員控室 枇榔島合戦

藤 後 昇 一



枇榔島

した。しかし、その後の天候の激変は、船団の予想を遥かに超えるものでした。他の船団が網を上げて帰港する時期を見失つ中で、藤後家の船団だけは網を入れずに帰港し、唯一難を逃れました。「このときの海難で志布志港の50余艘の八田網の船団はほとんど破壊され、死者、行方不明は百数十名に達している。」(町誌)。

27日になってようやく始まった捜索活動の主力を担つたのは藤後家の船団で、収容した死者は123名に上つたと伝えられています。

私は、この悲惨な災害を「枇榔島合戦」として後世に伝えた、当時の志布志の民の想いに光が当たることを願つてやみません。

どうぞ傍聴席へ 次回定例会は3月です

開会中は、本会議の様子をケーブルテレビの112チャンネルで生放送しています。また、当日の午後8時から録画再放送もあります。

是非ご覧下さい。

◎インターネットでもライブ中継を公開しています。

志布志市ホームページからご覧ください。

ライブ中継 ⇒ 志布志市トップページ » 市政情報 » 議会中継 » 議会中継(ライブ中継)へ

編集後記

坂元 修一郎



この議会だよりが発行される頃には、三期目の新しい議員が選出されていると思えますが、今回号までは前回の委員で制作いたしました。議会も市長と同じく市民に選ばれ、負託に応えるとともに「開かれた議会」として市民に分かりやすく情報を公開しなくてはなりません。努力はしても、決められたペーシジのなかでは理解しやすい広報誌づくりには大変難しいものがあります。

しかし、テレビ放送と違い、何度も読み返し確認できる利点もあります。新しい委員会ではさらに読みやすい議会だよりづくり尽力されることと思います。

今回、新しく皆さんに選ばれた議員の活躍と議会の動向を見守るためにも今後ともご愛読をよろしく願います。

広報等調査特別委員会

委員長 坂元修一郎
副委員長 平野 栄作 鶴迫 京子
本田 孝志 長岡 耕二
金子 光博 岩根 賢二
東 宏二 小園 義行

発行責任者

志布志市議会議長 上村 環